

令和 2 年

第 4 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和2年第4回仙北市議会臨時会 市政報告

令和2年第4回仙北市議会臨時会の開会にあたり、新型コロナウイルス感染症対策等、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症関連についてです。

新型コロナウイルス対策については、4月6日に、「仙北市新型コロナウイルス対策部」から「仙北市新型コロナウイルス対策本部」に改組し、市民の皆様には、手洗いやアルコール消毒、咳エチケットの徹底、また、感染が拡大している地域への不要不急の往来の自粛などをお願いしてきました。しかし、国内での感染の勢いは衰えず、4月16日、政府から全国に緊急事態宣言が発令され、翌17日には県の緊急事態措置が講じられました。そのような状況から市として一段と厳しい対応を取らなければならない段階に入ったと認識し、観光施設や文化・交流施設、指定管理施設などの公共施設の休館・休止を決定しました。

これらの対応により、散発的に発生していた県内での感染者が4月14日以降発生していないことから、一定の効果はあったものと考えています。

こうした状況の中で、連休中の5月4日、国では緊急事態宣言を5月末まで延長する旨を表明しました。また、秋田県では、翌5日に対策本部会議を開催し、一部の施設を除き、5月7日から休業要請を解除することを決めました。

市では、国、県の方針決定を受けて、5月6日に対策本部会議を開催しました。市の基本方針として、県の緊急事態措置に基づき、県外との移動自粛、密閉、密集、密接の三つの密を避けることを呼び掛け、引き続き、感染防止対策を徹底することとしました。その上で、文化・交流施設、体育施設、保健・福祉施設は、予定どおりの期日で休館・休止を解除することとしました。なお、学習資料館

と田沢湖図書館については、一定の制限のもとで開館することにして
います。

指定管理施設については、原則として休館・休止を解除すること
にしていますが、県外からの利用が想定されるなど安全が担保され
ない場合は、指定管理者と協議の上で休館を延長することも可能と
しました。また、不特定多数の観光客等が訪れる観光施設について
は、5月14日まで休館・休止を継続し、15日以降については国、
県の動向も見極めて改めて判断することになりました。

今後、国では、5月14日を目途に一部地域の宣言解除も検討し
ていて、県でも、一部事業者の休業要請を5月14日としているこ
とから、この1週間の中に、さらに動きがあるものと思われます。
市としても引き続き情報収集と現状分析、市民の安全・安心に努め
ます。

次に、特別定額給付金事業についてです。

市では「仙北市特別定額給付金推進本部」を設置し、申請書類の
発送準備を進めています。5月11日から13日までに順次申請書
類を郵送し、申請の受付は、5月13日からとしています。給付金
の申請は原則として郵送となっていますが、様々な事情で郵送す
ることが困難な方も想定されることから、5月13日から24日まで
は市内3か所の特設会場で相談と申請受付を行います。5月15日
には1回目の給付が可能となるよう関係機関との調整を進めていま
す。

特別定額給付金の関連予算については、一般会計補正予算（第1
号）として4月28日付けで専決処分をさせていただきました。補
正額は、25億8,900万円となっています。

また、仙北市独自の経済対策として、「仙北市新型コロナウイルス感
染症対策事業継続支援金」制度を創設し、新型コロナウイルス感
染症により大きな影響を受けている市内の事業者の支援を行うこと
にしました。県の休業要請に伴う協力金の対象外となる事業者に対し
20万円を給付します。なお、飲食業、宿泊業については、観光客

等の不特定多数の人との接触のリスクが高いこと、また、同じ業種でも県事業の対象から外れること等を考慮し、10万円を加算することにします。

事業継続支援金については、一般会計補正予算（第2号）を提案しています。

補正額は、1億9,300万円で、財源として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当しています。地方創生臨時交付金については、5月1日付けで内示があり、仙北市の一次配分は、1億6,114万1千円となっています。不足額については、今後の追加配分の動向も勘案し、一般財源の充当も考慮し、財源振替等により対応することにしています。ご審議をよろしく願います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇令和2年春の叙勲受章について

4月29日、春の叙勲の発表がありました。仙北市では元仙北市消防団長の藤島絹雄（ふじしまきぬお）さん、元仙北市消防分団長の辻谷公雄（つじやきみお）さんが、それぞれ消防功勞により瑞宝単光章を受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功勞が認められたものです。市民の皆様と共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

◇新角館庁舎建設事業における新型コロナウイルス感染症対策と進捗について

4月16日、全国に緊急事態宣言が発令され、これまで以上に建築現場内での感染症対策が必要とされています。このことから、県内で行われている他の大型建築工事の動向も踏まえ、3密回避や検

温、現場内の除菌徹底などの対策をマニュアル化し、感染症対策を十分に留意したうえで工事を進めています。

しかし、万が一感染が確認された場合には、保健所等の関係諸官庁と協議を行い、速やかに工事の一時中止などの措置を講じる予定です。

現在の工事内容は、屋根鉄骨工事や内部の間仕切り、建具などの工事を行っています。5月2日における工事全体の進捗率は42%で、予定通りに進んでいます。

◇ふるさと納税について

令和元年度のふるさと納税は、寄附金が総額で8億2,172万1,700円（4万5,670件）で、全県トップとなる予測です。前年度比543%の増となり、大きく伸びた要因はポータルサイトの拡充や返礼品のブラッシュアップ等が功を奏したものと考えています。

仙北市にご寄附をいただいた全国の皆様に心から感謝を申し上げます。今後も多くの方々から応援いただけるよう、まちづくりや情報発信に努めます。

◇デジタル技術による農村再生事業について

本年度、新規事業として実施を予定していた「デジタル技術による農村再生事業」について、不採択となった旨の連絡をいただきました。本事業によるスマート農業の社会実装については、来年度以降の地方創生推進交付金の活用に向けて取り組みを進めたいと思います。

◇市税の支払い猶予について

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、市税の支払いが困難になった方を対象に、徴収猶予特例制度を創設しました。令和2年2月から令和3年1月までに納期限が到来する全ての税目が対象で

す。延滞金がかからず無担保で最長1年までの猶予が可能です。

市民へ周知を進めるとともに、納付が困難な方の納税相談に応じていきます。

◇市税等の収納率について

3月末現在の市税等の滞納繰越分収納率は、前年同月比で普通税が1.8ポイント減の18.6%、国民健康保険税が増減無しの32.2%、後期高齢者医療保険料が2.0ポイント増の32.6%です。現年度課税分は、前年同月比で普通税が1.0ポイント増の97.1%、国民健康保険税が1.0ポイント増の92.6%、後期高齢者医療保険料が0.2ポイント減の99.2%となっています。引き続き出納閉鎖まで収納率の向上に全力で取り組みます。

◇クマによる人身被害について

5月5日午前10時15分頃、西木町桧木内字相内地内で、市内在住71歳男性が山菜採り中にクマに襲われ腕や顔に怪我を負い、ドクターヘリで大曲厚生医療センターへ搬送されました。幸いにも命に別状はありませんでした。市では被害発生連絡を受け、鳥獣被害対策実施隊の出動により付近のパトロールを実施しました。また、「仙北市熊被害警戒部」を設置し、防災無線や安全安心メールでの被害防止広報を実施しました。今後も各機関との情報共有に努め、警戒にあたります。

◇防災行政無線施設整備について

現在、田沢湖、西木地区の防災行政無線はアナログ波システムで運用していますが、無線設備規則により令和4年12月1日以降、新規格での運用が必要となることから防災無線施設再構築検討委員会を立ち上げ、検討を重ねてきました。その検討の中で現システムの受注メーカーに電波の測定を依頼したところ、一部オーバーホール等の必要が認められたものの新規格基準値に収まっていて、当分

の間は現在のシステムを継続運用できるとの結果でした。

従いまして、今後しばらくは現行の防災無線システムで運用を続けていきます。

【観光商工部】

◇経済支援対策等について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、資金繰りに支障をきたしている事業者を支援する融資制度申請については、4月30日時点で認定件数64件、申請予定額9億1,210万円です。内訳は、セーフティネット認定件数19件、申請予定額2億2,500万円、危機関連認定件数45件、申請予定額6億8,710万円となっています。

ハローワーク角館に寄せられた雇用維持を図るための雇用調整助成金に関する相談は、4月27日正午時点44件で、相談件数が急増しています。

◇あきた花紀行の中止について

角館の桜まつり、刺巻水ばしょう祭り、かたくり群生の郷とも各実行委員会で協議を重ねていただき、今年度はいずれの行事も中止となっています。

角館の桜まつりについては、それぞれの局面でベストの判断をしたいとの思いで、段階的な判断をしていただきましたが、最終的にはライトアップを含め全てのイベントを中止との判断にいたりました。桜並木駐車場及び旧角館高校グラウンド駐車場は、路上駐車や道路渋滞を防ぐ目的で営業していたところですが、桜が咲き始めて最初の週末（4月18日、19日）には、両駐車場で約600台の利用（県内ナンバーが約74%）があり、営業していることが誘客を助長するメッセージとなる可能性もあることから、20日に閉鎖しました。

また、情報発信では対策本部長名で各報道機関あてに2回にわた

り誘客行動を招く報道自粛をお願いし、市及び観光協会からも開花情報などの情報発信を控えました。

翌週末からは、仙北警察署、角館消防署、市交通指導隊など各方面からの協力をいただき巡回を増やし、また、警備員の増強などの態勢強化を図り、安全対策に努めました。それ以降は5月の連休中も目立った混乱は見られませんでした。

市ではこの期間中、それぞれの地点で写真などを撮影してきました。来年こそ春の美しい仙北市に、たくさんの観光客が来ていただけるよう、これらの映像を活かしていきたいと考えています。

なお、例年連休明けに発表している各イベントの入込客数の統計調査については、調査しているほぼ全ての施設が中止、閉鎖等の措置を取っていることから、今年度は実施していません。

◇祭り・イベント等の中止について

生保内公園つつじ祭りは中止、秋田駒ヶ岳山開き、たざわ湖・龍神まつりは関連するイベントを中止し、関係者による神事のみを行う予定です。その他の観光イベントについては、各実行委員会等で、順次実施の有無を検討します。

【農林部】

◇強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金について

4月8日付けで、東北農政局から「強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金」について補助金額10億円の内報がありました。

この補助採択を受けて、4月30日に事業主体となる現地法人の株式会社ハレタス田沢湖の設立に向け手続きが進んでいます。今後は黒沢工業団地に、植物工場の建設が進みます。市としても補助金のかさ上げや構内道路の整備等の支援を行います。

【建設部】

◇令和2年度国庫補助事業について

令和2年度社会資本整備総合交付金事業費国庫補助金について、当初予算の内示率は62%で昨年度の38%より高い内示率となりました。橋梁補修や道路ストック点検の重点事業が今年度新たに創設された道路メンテナンス事業補助に振り分けられ、内示率92%と高配分されたことによります。しかし、従来から要望している社会資本整備総合交付金の内示率は40%と低い配分となり、このままでは予定している事業進捗が望めない状況です。

今後も国庫補助金の補正予算の有無を問わず、強力な要望活動を行います。議会の皆様のご支援もよろしく申し上げます。

◇水道事業について

今年度も継続事業として山谷川崎地区と卒田地区で水道未普及地域解消事業を行います。山谷川崎地区では、送水ポンプ場の機械設備工事、卒田地区では、国道横断の配水管敷設工事などを行う予定です。なお、4月1日現在の水道施設国庫補助の内示率は、どちらの事業も100%となっています。

◇下水道事業について

下水道事業は、田沢湖浄化センターの受変電設備の更新と前郷クリーンセンターの機器設備の新設、更新工事を行う予定です。どちらの事業も3か年計画の2年目であり、内示率は、ともに100%となっています。

【医療局】

◇病院事業管理者について

病院事業管理者の退任に伴い、新年度から、伊藤市立角館総合病院院長が職務代理者に、佐々木市立田沢湖病院院長が副管理者に就任しています。

新体制のもと、市民や地域の方々に必要とされる病院として、両病院一丸となって経営改善を進めます。

◇新年度の診療体制等について

田沢湖病院は、星野副院長を迎え、常勤医師4人体制で診療にあたっています。

角館総合病院は、常勤医師が不在となっていた脳神経外科及び小児科について、大曲厚生医療センターとの連携協定に基づく医師の派遣を受け、外来による診療を継続しています。また、6年ぶりに初期研修医1人を受け入れ、研修を開始しています。

◇新型コロナウイルスの影響について

手術衣など診療材料が全国的に不足していることを踏まえ、厚生労働省からの要請により、緊急性の低い手術や予定入院の延期など、医療資源の重点化を図っています。このため、入院患者は大幅に減少しています。また、外来患者も大幅に減少していますが、これは、新型コロナウイルスの感染リスクの影響から、外出を控えているためと考えられます。

このような状況の中、市立角館総合病院では、感染拡大に備え、県と新型コロナウイルス感染患者の受け入れについて協議を進めています。現在、院内で医師・看護師をはじめとした対応スタッフや診療材料の確保、院内感染対策についての準備、検討を行っています。また、市立田沢湖病院では、5月1日から当分の間、夕暮れ診療、時間外診療、休日診療の新規受付を休止しています。

◇おわりに

新型コロナウイルスの感染対策は、政府が言うように長丁場を覚悟しなければなりません。私は本事案をパラダイムシフトだと受け止めています。度合いにもよりますが、行政として望む未来に向けた戦略の練り直しが必要です。これからは命を守りながら経済を回復させる日常がしばらく続きます。仙北市が目標とする各分野の達成度や手法は変化せざるを得ません。特に農業政策では食糧自給率

の向上対策、観光ではインバウンドに偏らない国内需要の掘り起こし、医療では県内医療従事者の確保、教育ではリモート学習の実現など、市の将来を考えると後回しにできないと課題だと感じています。今年度、仙北市は総合計画の後期計画や総合戦略の策定を行います。これら視点を盛り込み議論を重ねたいと思います。議会の皆様、市民の皆様、関係団体の皆様には、望ましい未来を手にするため、今後も危機感を共有しご理解とご支援をお願いします。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本臨時会に提案している案件は、専決処分関係7件、予算関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。